

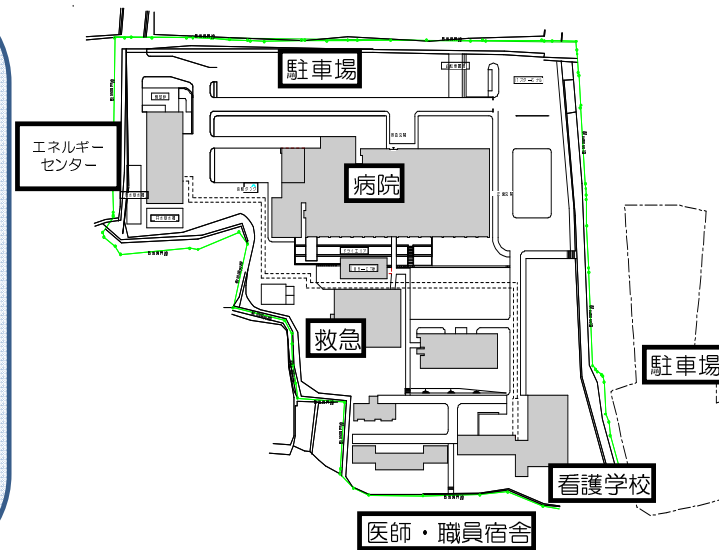
〇現県立奈良病院の概要

【病院概要】

所在地 : 奈良市平松町1丁目30番1号
 病床数 : 一般400床、救命救急30床
 看護体制 : 入院患者10人につき看護師1人の割合で配置
 指定等 : 救命救急センター、災害拠点病院、臨床指定病院
 へき地医療拠点病院、地域がん診療拠点病院等
 1日平均外来数 : 927人（平成20年度）
 平均病床利用率 : 79.7%（平成20年度 一般病床）

敷地面積 : 病院45,000㎡、東駐車場4,400㎡
 構造規模 : 病院 SRC造 地下1階地上7階
 : 救命救急 RC造 地上2階
 建設年度 : 病院 昭和52年、救命救急 昭和58年
 床面積 : 病院・救命26,800㎡ その他7,000㎡
 容積率／建蔽率 : 75.1% ／18.7%

【現況平面図】



〇現県立奈良病院の課題

【医療機能】

- 〇地域連携
 - ・地域の医療機関との役割分担・連携体制が不十分ことから、軽症者が多く受診するなど、重症患者の治療に支障。
- 〇マンパワーの不足
 - ・医師・看護師の不足により、救急医療等において受入体制が不十分。
- 〇がん治療
 - ・がんにおける手術、放射線治療、及び化学療法を組み合わせた効果的な集学的治療体制の機能強化が必要。

【施設整備】

- 〇施設の老朽化
 - ・築30年以上経過し、内外装材の剥落や漏水が発生。
- 〇耐震性能の不足
 - ・耐震診断の結果、ランクC（大規模地震発生時に倒壊し、又は崩壊する可能性がある。）に該当。
- 〇施設の狭隘化
 - ・病床1ベッド当たりの面積が狭隘。
 （現病院は1床当り62㎡。最近の病院は75㎡～100㎡。）

〇新県立奈良病院の概要

地域医療の核になる高レベルの医療を提供 ～北和地域の高度医療を担う中央病院～

北和の中央病院として、地域の医療機関と連携し、地域住民に質の高い医療の提供を目指します。

絶対に断らない救命救急システムの基幹病院 ～命を救う最期の砦～

24時間365日、専門医、看護師、医療技術者からなる専門チームが、最新の医療技術で救命救急活動に全力を注ぎます。

癒しと安らぎの空間の提供 ～病気が治るような気にさせる病院～

身体と心を共に癒す、ほっとする、夢と温もりのある心やすらぐ治療の場を提供します。

北和地域のがん医療の機能強化 ～がんの征圧を目指して～

本県における死亡疾患のトップである「がん」に対して、最新技術と設備で、高度な医療を提供します。

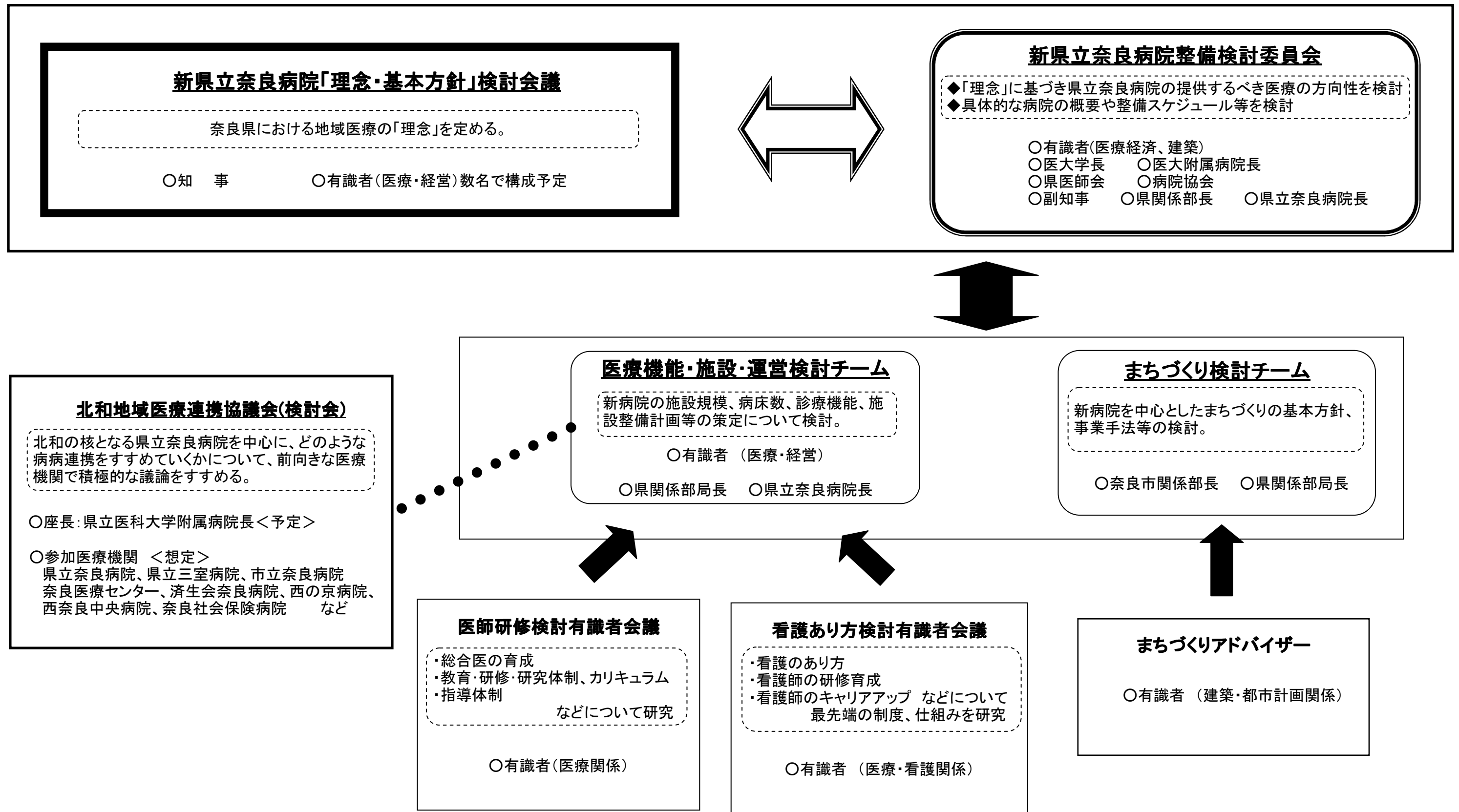
安定した医師確保へ、魅力ある病院づくり ～医師をひきつけるマグネットホスピタル～

医師をひきつける魅力ある病院づくりをすすめ、将来にわたって安定的な医療を提供します。

スペシャリストとして、看護の力を発揮 ～働きがいのある病院～

個々の看護師が生涯を通じて、看護の質を高めつつ、能力を最大限発揮できる働きがいのある病院を目指します。

○新県立奈良病院整備にかかる検討体制（案）

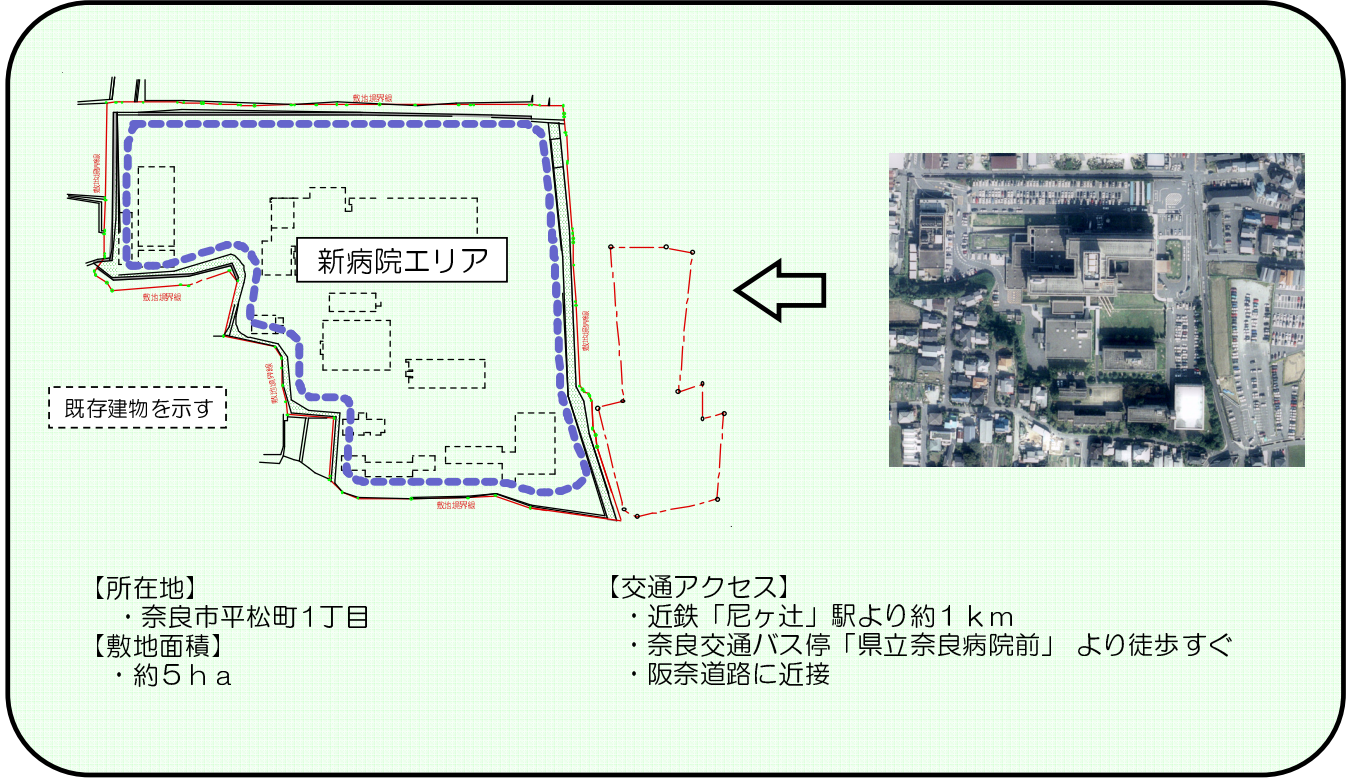


○新県立奈良病院の整備場所の比較検討

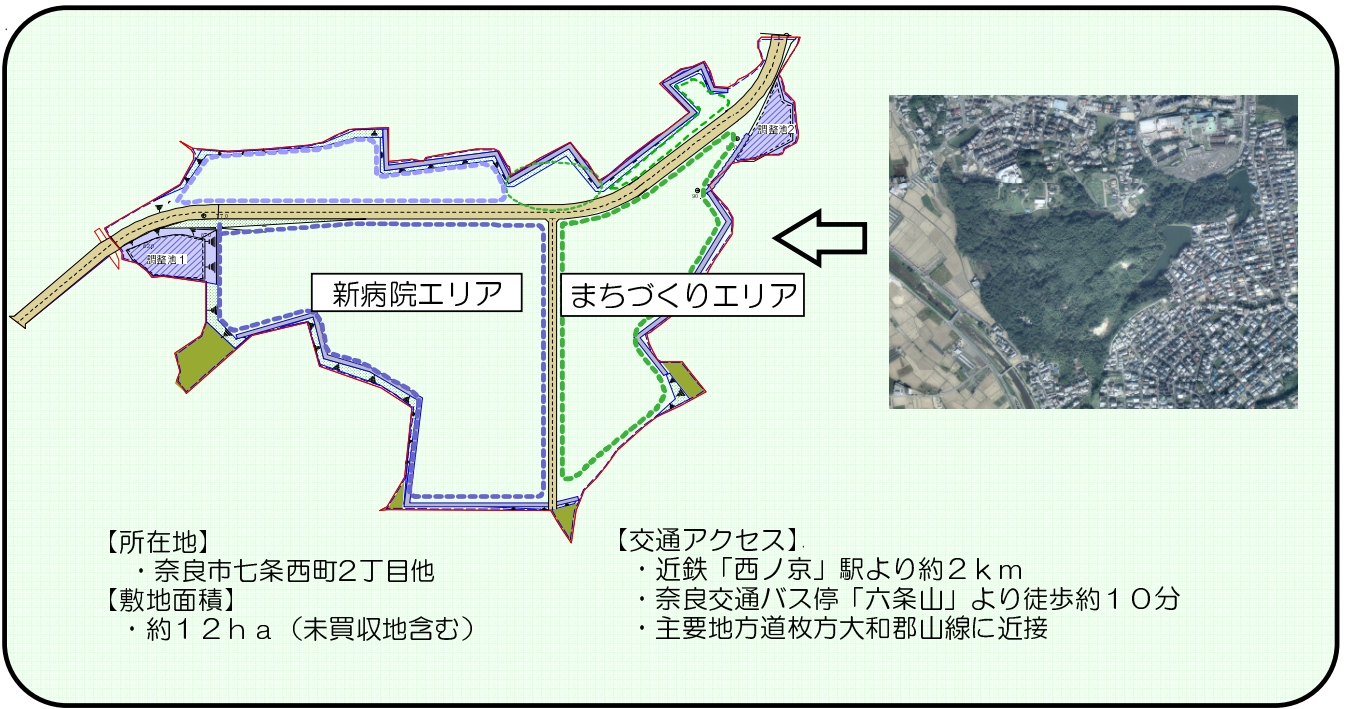
<比較検討項目（素案）>

比較検討項目	比較検討の内容
1. 病院機能	
病院敷地面積	新病院の機能確保だけでなく、将来の増改築等の拡張性も考慮した病院敷地面積の妥当性について
病院施設の配置の自由度	新病院の機能を効果的・効率的に発揮するために適した病院施設の配置計画の可能性について
交通のアクセス性	自家用車等や公共交通機関のアクセス性について
救急医療への対応性	救急車のアクセス性について
ヘリポートの整備	緊急時の対応として、ドクターヘリの受け入れのためのヘリポート設置の可能性や周辺地域への影響について
災害時の収容スペースの確保	大災害発生時の負傷者等の救急収容のためのスペース確保など、災害時の対応性について
2. 経済性	
建設コスト	新病院の整備に要する全体事業費について
3. 周辺地域への影響	
周辺地域に与える景観上の影響	新病院の整備が周辺地域に与える景観上の影響について
日照障害の影響	新病院の整備が周辺地域に与える日照障害の影響について
騒音の影響（ドクターヘリ等）	ドクターヘリ騒音や道路交通騒音など、新病院の整備が周辺地域に与える騒音の影響について
4. 工事中的影響	
周辺への影響	騒音、工事用進入路や作業ヤードの確保、安全対策など工事の施工に係る周辺地域への影響について
工事期間	整備場所の施工条件等を考慮した工事着手から新病院の供用までの工事期間について
病院利用者への影響	現県立奈良病院の入院・外来者など利用者への影響について
5. まちづくり	
病院を中心としたまちづくり	病院を中心とした周辺地域のまちづくりの発展性、経済効果について

【現地建替（平松町）】



【移転候補地（六条山地区）】



※ 図面の縮尺は同一ではありません。

○新県立奈良病院の今後の検討方針

新県立奈良病院の建替整備については、以下の項目について引き続き検討を行い、整備場所を含む基本構想は年内、基本計画は年度内に決定する方針。

第2回検討委員会（平成22年11月開催予定）

- 新病院の理念、基本方針について
- 新病院の求められる役割、機能について
- 新病院の整備場所について

第3回検討委員会（平成23年2月開催予定）

- 新病院の病床数、診療機能、施設整備計画等について
- 新病院の事業収支計画について
- 新病院を中心とした北和地域の医療連携について
- 医師研修(教育・研修・研究体制、カリキュラム、指導体制等)について
- 看護のあり方(看護師の研修育成、キャリアアップ等)について
- 新病院を中心としたまちづくりについて